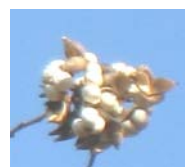


安心・安全  
住み続けられる  
コミュニティ形成

# 知ら咲か



2014 DECEMBER No.19

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3 (TEL)070-5041-4405 URL <http://www.shirasaka8.net/>

白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして「知らせましょ・咲かせましょ(通称“知ら咲か”)という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTEL070-5041-4405 石田まで)

## 玄関先からの回収に高いニーズ

### エリアの助け合いで粗大ゴミ回収処理を実施

「できる人が、できる時に、できることを、できるだけ」、知ら咲かではエリアの誰もが助け合い、支え合う関係づくりを目指しています。十月の「粗大ゴミ回収処理」では玄関先からの運搬が困難な方にも応え、作業協力の方々を支えられ実施しました。そして課題も少し見えてきました。

#### ■万全を期した準備で

全戸アンケートによる回収希望お申し出のあったお宅への連絡と事前調査訪問を行いました。搬出物の確認と搬出手伝いの必要度や費用の確認、日程調整等を事務局が分担して万全の事前準備を行いました。

万端の準備ではありましたが、大型台風十九号の接近ニュースで延期になるかもとやきもきしました。幸い十月十四日は台風一過のお天気に恵まれて予定通り搬出できました。事前打ち合わせ三回で、前年の反省を生かし宝塚警察署への届け出、市役所公園管理課へ公園の使用許可、従事者のボランティア保険公園の付保、搬出業者との打ち合わせ、クリーンセンターへの届け出等に備えてのテント借用申し込み等を行いました。

#### ■ご依頼の皆様から感謝のお言葉

八つのマンションからのお申し出は四十九戸(管理組合一件)と昨年実績を大幅に上回りました。

回収時には一人住まいの高齢の方はじめ多くの皆様から多くの感謝の言葉をいただき、事務局員一同、連日の疲れも吹っ飛びました。

#### ■幾つかの課題も見えました

実施後の反省会では、次のような課題があげられました。  
○年一回では少ないので回数を増やすことも考える。  
○全てを廃棄物とするのではなくリユースできる品を選別してガレージセールすることも社会貢献の一つになるのではないか?

(本・DVD・CD等学校等への寄付も)  
○他地域の自治会からのご希望があればノウハウの提供・アイデアも視野に入れる。

このような積極的なご意見もあり今後、次回はさらに充実した体制、方法で臨むことができよう検討を加えていきます。

#### 「ご依頼者からのお声」

### 「大型ゴミへの思い」

逆瀬川パークマンション  
宮部 鶴子

十月に実施された大型ゴミ回収に三点お願いしました。事前調査での確認を含め玄関まで来て下さったことが何より安心で嬉しかったです。ありがとうございました。

今回廃棄した物にはそれぞれ深い愛着がありました。特に「ホームこたつ」はお正月に小さかった孫達が集まり「あったかい！」と喜び我先にこたつに入ったり、遊んだり、食べたり、賑やかな団らんの中心になりました。しかし昨今ではこのこたつ布団の端に足を捕られることも多くなり「転ばぬ先の何とか」でそろそろお役目ご苦労様ときれいに拭いての処分でした。

まだまだ長く大事に使っていた家具等があります。自身の体力低下に伴い今回の実施が私の第一章のはじまりになりました。

## 知ら咲か事務局メンバーご紹介

「知ら咲か」は多くの地域の皆様によって支えられています。今号から事務局メンバーとしてお手伝いいただいている方々を紹介致します。

### 山中 一弘さん

皆さんこんにちは。この度、「知ら咲か」に参加させていただくことになりました山中と申します。自己紹介も兼ねて当団体のお手伝いをさせていただきつけになった出来事をお話しさせていただきますと思います。

八月だったでしょうか？ポストに投函されていた一枚の「大型ごみ回収」のチラシでした。アヴェルデが分譲されたときから入居していましたが転勤もあり十年ほど他府県に住んでいました。当初は年に何度か大型ごみの日という便利なものがあったと記憶しています。費用面のこともあるのでしょうか？現在は残念ながらそのようなことがなく各戸で大型ごみを出すといったシステムになっています。繰り返し引越して捨てられない荷物や家具類も一緒に越してきました。時折、シールが張られた大型ごみがゴミステーションに置いてあるのを見て現在のシステムを理解した次第です。

昨年も「大型ごみ回収」をされたとのことでしたが案内に気がつきませんでした。今回、処分する予定の粗大ごみがどんなものか事前確認に当団体の責任者でもある石田さんとお会いしました。一月末まで会社勤めをしていましたが、自分の趣味を優先したく定年を待たず退職していましたが、自分の趣味も余裕がある生活環境でした。いろいろとお話した際にお手伝いさせていただくかと思った次第です。

どこのマンションでもいろんな役割に就かれています。皆さんがおいでですが仕事をしながらお住まいのマンションのために活動されている方が下がりません。時間ができたら自分も積極的に活動に参加しようかなあと考えていた矢先のタイミングだったのでお誘いをいただいた時、すぐ決断させていただきました。私の住むアヴェルデで今秋の「大型ごみの回収」を利用された方が数人だったことが自分としては大きな驚きでした。

次回もっと多くの方々に利用してもらえるように活動したいと思つた次第です。  
趣味・長くお馬さんに乗っています。

### 二宮 満雄さん

阪急逆瀬台マンションの二宮満雄と申します。

もうすでに何回か、文書を掲載していただいておりますが、事務局からの要請ですので、改めて書かせていただきます。

私は、学生時代に友人たちと飯盒炊飯をしたことのある、自然あふれるここに住み始めて既に三十年を超えました。しかし、会社人間でしたので、震災の時、マンションの中で名前と顔が一致したのはたったお一人でした。そのことに愕然とし、地域での交わりを少しでも豊かなものにしたいと思うようになりました。地域のゴルフの会の「悠遊会」に参加したり、まち協の環境部会での交わりをしたり、マンションの理事をしたりしていましたが、二〇〇三年からは市内の障害者施設を運営する NPO 法人に関係することになり、直接的にはこの地域での活動には加わることができなくなりました。

ところが、昨年から同じマンションの方から「知ら咲か」に参加するように勧められ、副会長にならされてしまいました。

この地域は自然豊かですが、高低差が一八〇メートルもあり、商業施設や文化施設も必ずしも豊かと言える状態ではありません。高齢化が進めば、日々の生活にも不便のしかかってくる恐れもあります。そうしたことを乗り越えるには、助け合い、支え合うことがとても大切です。そうした思いを強く持ちながら、この地域を構成する方々お一人お一人のニーズやお気持ちに添うことのできる「知ら咲か」を目指していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

**高橋 修さん**（羊、七十一歳）

この度「知ら咲か」の事務局員になりました。

特別な知識も特技も持っておらず不安ですが先輩方の手足となることで貢献できればと思います。何卒よろしくお願い致します。

【住居】パークマンション（在住二十三年）

【職歴】(株)グンゼ、(株)アズ（五十年間経理業務）

【性格】温和、内気、無口

【モットー】誠意を尽くす

【趣味】スポーツ観戦・カラオケ・スケッチ他

機関紙「知ら咲か」を初めて見たのは昨年の九月頃だったと思います。興味を持ったのは最後のページで、各マンションのサロン紹介欄で、カラオケでした。会社を辞めて毎日が日曜で最近ではカラオケもご無沙汰だったので是非とも参加したいと思ったからです。ただ主催が逆瀬川マンションだったのでダメかもと想いながら伺ったところ快く入会OKをいただいたので即入会し、初日から皆さんの輪の中に加わり楽しく過ごしました。

その時が、石田会長、尾川さん、花房さんとの出会いでした。その後は会を重ねる毎に親交も深まり挨拶や会話もできるようになりました。歌うことで気分、体調も良くなりストレス発散にもなり脳の活性化にもつながると思います。

これからも参加を楽しみにしています。  
そんなカラオケがご縁で、石田会長様そしてパークマンションの大賀様から事務局へのお誘いを受けました。長年自宅と会社の往復だったので知人も少なく地域のことは何も解っておりません。先輩方のご指導を受けながら少しでも寄与できるよう努めます。

まずはカラオケサロンと事務局業務を通じて「あいさつ」の輪が広がればいいなと思います。

**今年度後半の「知ら咲か」の活動は？**

今年一月の広報紙「知ら咲か」での皆様のご希望アンケート調査を行い、九号にその結果を発表させていただきました。ご希望の順では粗大ごみの処理が最も多く、昨年に引き続き実施させていただきました。

調査結果（「知ら咲か」九号より引用）

項 目	選択数
1. 地震や水害等の災害や自宅での備え市内外での防災活動学習会	29
2. 高齢者・障害者・支援を必要とする方の把握・安否確認の方法	46
3. 災害に備えて特技をお持ちの方・お手伝いを頂ける方の登録	18
4. どの避難所に逃げるのか等の避難訓練	31
5. 地域での炊き出し訓練	16
6. 避難所での避難生活の為のルールづくり	18
7. 簡易トイレやマンホール（汚水用）を活用したトイレの活用	38
8. 飲料水や生活用水の確保	31
9. 非常食等備蓄用品の一括購入・一括管理	33
10. その他	7
計	267

その他の項目（災害時用の保存食・飲料水の共同購入、一括管理、見守り・安否確認、非常時の簡易トイレ設置、防災活動学習会）などにつきましても具体的な取り組み方法を検討し、来年春にはワークショップを行うなど具体化に向けて検討して参ります。

安全で安心なこの町に住んでいて良かったと思われるような活動を、着実に一つずつ積み上げてまいりますので、引き続きご支援ご協力の程よろしくお願ひいたします。

（知ら咲か事務局一同）



# すてきな 近所さん



早朝のご近所さん



初冬のこの季節。まだ日の明けぬ朝のラジオ体操を終えて帰る道、ゆずり葉の森から眺める景色は至福のひと時と思える瞬間です。東から南に軌道を描いて昇る黄金色なのかオレンジ色なのか？形容しがたい巨大な光り輝く太陽。なんと美しいこと、思わず手を合わせたくなるほどです。

この頃には人々の顔も認識できはじめ、明るく爽やかな挨拶の始まり。元気で幸せを感じる朝です。



元気な卓球仲間たち



タブレット教室やカラオケクラブも盛況です。



広報紙印刷は毎号多くの方がお手伝い。

スナップを撮らせていただきました





## 読者からの寄稿

### 年賀状

今年も年賀状の季節が巡ってま  
いりました。

十一月の下旬になれば、喪中のはがきが舞い込む季節でもありません。

人との別れの季節でもあるんでしようかね。

齢を重ねてくると、遠方の方々とはどうしても疎遠になりがちで、喪中のはがきをもらって残念な気持ちで一杯でもあり、もう一度逢っておいたらよかったな、と思うことが多々あります。

ここ数年時々年賀状の中で、高齢の為今回で最後にしたい、あるいは来年から失礼する、との添え書きを見ると、本当に寂しくなりま  
すね。

こんな時には、もらった時に手紙や電話で様子をお尋ねし、次回から本当にやめるか、あるいは相手に負担のかからないように配慮しながらとにかく元気な過ごしてま  
すので、と一方的に賀状を送るよう  
にしておりますが、いつまでも元  
気でいてほしいものですね。

(ま)

### あなたなら、どうする？

先日高校の（同期）同窓会に参加した。これまで3年毎に開催して来ているが、今回も卒業生約650名の内、140名程の多くが参加してくれた。みんな齡だけは同じように重ねてきているが、開会前のロビーでは、車椅子や介添え者の同伴、杖を手放せない者、あるいは病院から駆けつけましたといった状況の者たちを交えて歓談の輪がアチコチで散見された。我々はそろそろ80の声を聞こうかという年齢。どうぞ皆さんいつまでも元気で過ごしてほしいものです。

所定のセレモニーも済ませ、宴席になり、フツと向こうに目を追いやると、これまで糖尿病で段々その症状が重くなり、病院のベッドから駆けつけたとでも言わんばかりに病氣した姿を見つけ、よく参加してくれたと喜んだのも束の間、驚愕の姿を目にした。健常者にも負けない勢いでビールをあおり料理をばくつき……。

隣席の者が解説してくれた。「あれはナ、奥さんがエライねん。からだを受け付けたらお酒飲んだらええし、好きなもん食べたらええ。同窓会に行つて飲んで食べて楽しんで来たたらええがな、ということらしい。」

(下につづく)

(上からのつづき)

見た目は元気そうな高齢者8人の男女の席で、しばしこの話題で持ちきり。

普通は厳格な食事療養をするものと思  
うが、食事療養をしても例え残り2年の人生であつて、からだを受け付けるのなら、好きなものを飲んで食べて1年でその終焉を迎えても、本人はその間心豊かな時期を過ごしたことになる満足した人生が送れたのではないか、となった。

まさか奥さん、保険金欲しいわけやないやろと。我々も全員そうした人生の終焉を迎えたいという願望をもって話が一致した。

日常と異なる楽しい数時間を過ごし、別れた。

後日、あるセミナーで講師の循環器の医師にこんな生きざまは如何なものでしようか、とお尋ねしたら、よくそういった話は経験するが、医学（研究）と医療（施術・治療）の関係でしょう、ということだった。

こういったことは要は自然のままに生きるこの選択を本人がお決めになることなんでしょうかね。

とにかく制限のない人生の終焉がエエな！。

## ポルトガル高齢者に学ぶ

寄稿執筆 奥村 森

2 年程前、宝塚市在住の 92 歳の義母と 20 歳になる老猫の介助をするため、東京から宝塚市逆瀬台に引っ越してきた。これまでの人生、東京と外国暮らしが殆どだったので、日常生活や価値観の違いに戸惑うことも多々あった。

しかし、東日本大震災以降の東京に比べると、こちらの生鮮食料品は極めて新鮮なので美味しい。また、見知らぬ人が街で気さくに声を掛けてくれるのも嬉しい。よいことばかりではない。

困惑しているのは、車を運転する人のマナーの悪さである。コンビニやスーパー出入口での逆走、緊急自動車通過無視、違法駐車など、街に一步出ると必ず目にする光景だ。宝塚の知人に「どうなっているのか」と尋ねると、「大阪よりましでしょう」と答える。だが、これだけは命に関わることなので、せっかちな気質と笑っては済まされない。

現在の宝塚市は企業転出や住民高齢化が加速、財源が相当厳しいと聞く。我々も高齢者の仲間入りをしたからといって、血税にぶらさがってはいられない。

昔、ポルトガルの修道院を改装した老人養護施設を訪れたことがあった。そこには、個室、団欒室、食堂、カフェ、病院、工作室などが完備され、広い農園や散歩道まである立派な施設だ。入居者のひとは家族に迷惑を掛けまいと、自身の意思

でやって来たと言う。元家具職人は「病院に入ったら気もちま

で病人になってしまう、だからそうならないように物創りを毎日するのだ」と語っていた。彼等が作った作品や食物は、市場に流通して施設維持費に大きく貢献しているというから素晴らしい。

思い起こせば、ポルトガルの高齢者は自立していた。今、私も同年代に差し掛かり、命題を突きつけられる思いである。人生、そんなに時間は残されていない。精神的にも経済的にも自立して、無駄なく有意義に宝塚での日々を過ごしたい。



あるマンションの管理人さんの随想を紹介します。これを鏡に住民としても考えてみませんか？

## 【管理人徒然草】「潤 滑」

「えらいこっちゃ！天井から水が漏ってきた！」と奥様が飛び込んで来られました。午前 10 時頃。

当該のお宅に急行したところ、玄関すぐの洗面場と廊下を挟んだ洋間に水滴の音。洋間の方が特に醜く天井灯のカバーから水が滴り落ちていました。

先ず、階上を確認・・・と真上のお宅に駆け付けチャイムを押す。ドアを開けた奥様に「水を零しませんでしたか？」と問う。「先程洗濯機のホースが外れて、洗濯場の床に流れていましたが大した事無かったのですが・・・」との返事。すでに水を止め、床も拭き取っておられまして、当の奥様は少し漏れた程度で、階下にまで滴っているとは思っても寄らなかった様子。



直ぐに階下に行かれて現場を見、何はともあれお詫びされるよう話し、管理室から古新聞、古タオル、脚立にバケツを持ち水漏れ現場に再度急行、応急作業をしました。

ようやく水滴の落下が治まったものですから、双方の奥様に状況を説明。階下のご主人が駆け付けられたので再度経過と状況を話したところ、マンション保険に加入しているはずからそちらのほうにも連絡してくれたら・・・とのこと。

保険代理店に電話したところ、多分保険でカバーできそう、できるだけ早く専門業者を連れて行きますとの対応。

昼頃には階上のご主人から階下の方へお詫びの電話。午後 2 時に保険代理店の現場見聞。夕刻 5 時双方のご主人立会の上、保険調査員の検分・・・とスムーズに処理でき安堵いたしました。

こうした折には ともすれば両者間に軋轢が生じるものですが、第三者の管理人が現場の様子を的確に把握し、双方と保険代理店に報告できた結果うまく収拾できたのだと思います。

つまりは当事者が興奮した状態で直接話し合わなくて済んだからです。怒ったり、言い訳したり、口論せずに済んだからです。

こうした突発事故により生じる加害、被害や苦情もめ事では、当人同士だけで直接交渉するのではなく信頼できる第三者に潤滑油の役目を務めてもらうのが良いでしょう。

私達管理人にとっての大きな役目の一つなのでしょうね。住民の方に信頼していただき、潤滑油の役割を仰せつかるよう、日々の影日向のない公平な勤務態度の大切さを改めて感じた一件でした。

(水 兵 子)

### 「知ら咲か」本年度の会員募集はお陰様で 昨年度の実績(金額)を上回りました！

「知ら咲か」は NPO 法人化を目指しています。まだ現在は任意団体にも拘らず、2年目の会員募集も多くの皆様に再度のお申し込みをいただきました。又、新規会員の方も22名と3団体様がお申し込みくださいました。「安全で安心・楽しいまちづくり」を目指している私たちの活動がご期待に沿えますよう、事務局員一同志を新たに致しております。

【会員登録の現況(平成26年11月21日現在)】

個人会員80名・法人会員3団体 合計年会費30万円

広告会員 3団体 ホームページ連動広告2団体で合計会費 9万円



## 「ど根性さつき」の由来

寄稿執筆 牧 耕三

昨年 10 月に西山住宅横の歩道が完成しました。これで、宝塚ゴルフ入り口から宝塚西高までの歩道が一本につながったわけです。これによって地域住民の生活利便性が一段と向上しました。

ところが、完成して間もなく、車道と歩道を分け隔てている「さつき」の苗木の一つが、心無い人によって踏み潰されてしまいました。枝が殆ど折られ、しばらくして枯れてしまいました。

と、思っていたところ、たった一本の枝が生き残っていたのです。これから寒い冬に堪えられるか心配でした。横を通るたびに見守っていたのですが、春から夏に奇跡の復活を遂げたのでした。それでもその大きさは、隣の「さつき」と比べても、四分の一から五分の一しかありません。通行中の皆様にはあたたかく、見守っていただければ幸いです。

二ヶ月近く前に、そのたくましい復活を讃えるために、また目印になればと「逆瀬台ど根性さつき」と書いた短冊を挿しました。

現在、目印となる短冊は存在しません。「さつき」がもう、大丈夫といっているようです。

写真（上）：ど根性サツキ、（下）周りのさつきと比較



12月の自然

## 『ナンキンハゼ』

写真はゆずり葉公園で

紅葉が美しいことから公園や街路樹の植栽として広く植えられているナンキンハゼ。白瀬川エリアでも数多く植えられています。

ついこの前まで紅葉していた木々も寒さの深まりとともに少しずつ葉を落としてきました。残った木の枝には緑色の実が熟して黒紫色となり割れ中から白いロウ粉に包まれた種子が出てきました。

この実には多くの小鳥が集まりついばんでいます。賑やかな鳴き声が聞こえるのもこの時期ならではのようです。

ナンキンハゼは中国大陸や台湾が故郷の外来種です。実を小鳥が好んでロウの部分を食べることから種子が広く拡散され六甲山系でも赤松林の中にも生育しているところも見られます。外来種の繁茂という点では日本の生態系の影響が心配される存在でもあり、ナンキンハゼの分布拡大についても見守っていく必要も出てきているようです。



### 【編集後記】

自治会連合会老人会の五十年記念大会行事に参加しました。

橋 幸夫のトークと唄で一時間二十分、十七歳でデビューして五十数年、十三年前には実母を亡くすまで自宅で介護、徘徊その他の大変な経験を生かして全国を講演は七百回以上、宝塚ホテルの大宴会場も狭しと満員になった老人の面々も暫し時を忘れ笑いと涙・感動に包まれました。

認知症患者四百十万人・予備軍を入れると一千万人近いとか！小ボケ・中ボケの具体的な例に自覚症状有！と私も含め大多数の人が挙手していました。ボケ対策は夢を持ち・好奇心旺盛・感動の心が特に大切だと得心しました。唄はデビュー曲に始まり懐かしい歌詞ばかりで「いつでも夢を」は全員で合唱。テレビでお馴染みの「子づれ狼」そして「さだまさし」作曲の地球環境への想いを込めた新曲のご披露でお別れとなりました。

(I)